

BUNGAKUZA TSUSHIN 2026.5 Vol.801

文学座通信

- 本公演・地方公演「かさぶた式部考」
対談 | 秋元戯曲の厳しさと優しさ
松本祐子×名越志保……………1~3
公演情報……………4
- 幕間(まくあい)——越塚学……………5
- 文学座あれこれ——中村雅俊……………6~7
- アトリエ短信……………8

| 対談 | 秋元戯曲の厳しさと優しさ



演出部 松本祐子 × 演技部 名越志保

5月29日(金)~6月6日(土)

新宿東口 紀伊國屋ホール

かさぶた式部考

作 秋元松代
演出 松本祐子

文学座公演 紀伊國屋書店提携 後援 新宿区

秋元松代との出会い

——今年、秋元松代さんの『かさぶた式部考』が上演されます。松本祐子さんから企画された理由を伺えますか。

松本 私が初めて秋元さんの作品のことを知ったのは『近松心中物語』でした。まだ子どもで、親が観に行つて大興奮して帰ってきたのを覚えていただけなんです。その後、大学の授業で公演の映像を見て、すごく面白かった。なんて強い言葉を書く人なんだろうと思って。その次に読んだのが『かさぶた式部考』だったんです。

——最初に読まれた印象は。

松本 〃治癒力〃が強い作家なんだなと思えました。以前演出した『マニラ瑞穂記』(二〇二二年)も今回の『かさぶた式部考』も、見棄てられた人たちが、社会の底辺にいる人たちに向けてるまなざしが優しい。ただその優しさゆえに、彼女らを見棄てている社会——『かさぶた式部考』の場合は偽りの多い宗教、あるいは『マニラ瑞穂記』の場合は日本という国家——それに対する憤りの炎も猛烈に強いんです。この世の地獄を味わつてる人たちの尊厳が光り輝く作品が多い。そこに惹かれますね。

——名越さんは、炭坑事故で正気を失つた大友豊市の母伊佐を演じられます。

名越 私は全く初めての秋元松代作品なんです。戯曲を読んだり、舞台や映像を見たりはしていますが。

松本 伊佐の配役は、とにかく早めにお願いしました(笑)。



『マニラ瑞穂記』秋元松代作、松本祐子演出

——最初から伊佐は名越さんというイメージがあったんでしょうか。

松本 そうですね。名越さんはおっとりして見えるんですが、内側に相当激しいものを秘めていると私は信じ込んでいて。外側の理的で落ち着いた雰囲気の中に、底知れぬ優しさと憤りや爆発力を抱えている役者さんだと。

名越 そうなんですか?(笑)

松本 そうなんです(笑)。で、伊佐って、役の年齢はそんなに上ではないのに、老け役の第一人者だった北林谷栄さんがテレビ版から民藝の公演まで長らく演じていらしたこともあって、勝手にお婆さんの役なんだと思いついていたので……。

——設定は五十三歳。

松本 そう。だから名越さんにやっていただくのが、年齢的にも一番リアルティが出せるんじゃないかと思っています。名越 二〇一七年に兵庫県立ピッコロ劇団が『かさぶた式部考』(藤原新平演出)

アトリエ短信

■文学座公演「旅することばの劇場」

文学座が大切にしてきた「日本語のせりふ」を存分に味わえる、小さな劇場でこそ楽しめる企画をお届けします。今回は、文学座の創立者の一人である岸田國士、初期に活躍した森本薫の作品を九州と中国で上演。演劇の原点に立ち戻る機会として、今後も展開していく予定です。

『驟雨』

作 岸田國士

演出 鶴山仁

朗読劇『女の一生』

原作 森本薫

構成 鶴山仁

演出 西本由香

照明 鶴岡大樹

音響 山崎哲也

舞台監督 古屋治男

制作 前田麻登

◇出演



三浦純子 山本郁子 つかもと景子 大滝 寛

5月31日(日)	福岡県	直方市民劇場	ユメニティのおがた 小ホール
6月2日(火)	熊本県	ひとよし・くま市民劇場	人吉カルチャーパレス
4日(木)・5日(金)	大分県	別府市民劇場	別府公会堂
9日(火)	島根県	松江市民劇場	松江テルサホール

※各演劇鑑賞会主催の公演です。観劇ご希望の場合は各演劇鑑賞団体にお問い合わせください。

■ワークショップのご案内

文学座では、さまざまなワークショップを実施しています。文学座の俳優陣が培った技術を、人生の多様な局面に応用できる三つの企画に是非ご参加ください。

1 すみだパークシアター倉×文学座

演劇を使ったコミュニケーションワークショップ

5月30日(土)・31日(日) 14時~17時

すみだパークギャラリースタヤ

講師 石ヶ森光政(jubilee studio 代表)、

富沢亜古、塩田朋子、横山祥二

(以上演技部)

◇料金 1万円(消費税込・ドリンクチケット付)

◇定員 25名 ※定員になり次第、受付終了

2 演劇的手法によるクラスビルディング

6月7日(日) 13時~16時半

信濃町・文学座新モリヤビル2階

講師 植田真介(文学座附属演劇研究所主事)

◇料金 3,000円(消費税込)

◇募集人数 20名ほど

3 伝統所作入門 | 着物で学ぶ役者の身体

6月14日(日)・21日(日) 13時半~16時半

文学座附属演劇研究所 稽古場

(新宿区四谷3-5-3 山本ビル4階)

◇講師 富沢亜古(演技部)

◇料金 19,800円(消費税込)

◇募集人数 15名ほど

※詳細は劇団HPをご確認ください。

◇ご予約 ws.bungakuza@gmail.com

◇ご希望のワークショップ名、お名前、

お電話番号、ご住所をお知らせください。

◇お問い合わせ

03-3351-7265

(企画事業部 10~18時/土・日・祝を除く)

◎追加情報は文学座HPにて

出演情報

★乃村美絵:『ハリー・ポッターと呪いの子』(J.K.ローリングオリジナルストーリー、ジャック・ソーンオリジナルストーリー・脚本、小田島恒志・小田島則子訳、ジョン・ティファニー オリジナルストーリー・演出) ~2026年6月末 TBS赤坂ACTシアター
 ★采澤靖起、松本祐華:『メアリー・ステュアート』(フリードリッヒ・シラー原作、ロバート・アイク翻案、小田島則子訳、栗山民也演出) 5/9・10 J:COM北九州芸術劇場(福岡), 5/14~17 兵庫県立芸術文化センター, 5/21~23 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT(愛知), 5/30・31 カナモトホール(札幌市民ホール)
 ★鍛冶直人:『BACK BEAT』(イアン・ソフトリー、スティーヴン・ジェフリーズ作、石丸さち子訳・演出) 5/3~17 EX THEATER ROPPONGI, 5/21~24 兵庫県立芸術文化センター
 ★松岡依都美、山岡隆之介:『リア王』(W・シェイクスピア作、小田島雄志訳、

長塚圭史演出) 5/5~24 彩の国さいたま芸術劇場, 5/29~31 仙台銀行ホールイズミティ 21, 6/5~7 愛知県芸術劇場, 6/11~14 梅田芸術劇場 シアター・ドラマシティ ほか
 ★石田圭祐、櫻井章喜:ミュージカル『GYPSY』(スティーヴン・ソンドハイム作詞、アーサー・ローレンツ脚本、高橋亜子訳・訳詞、クリストファー・ラスコム演出) 5/6~24 日本青年館ホール, 6/5~7 刈谷市文化センターアイリス(愛知), 6/12~14 キャナルシティ劇場(福岡) ほか
 ★常住富大:『ハムレット』(W・シェイクスピア作、松岡和子訳、デヴィッド・ルヴォー演出) 5/9~30 日生劇場(日比谷), 6/5~14 SkyシアターMBS(大阪) ほか
 ★浅野雅博、星智也:『リチャード三世』(W・シェイクスピア作、松岡和子訳、森新太郎演出) 5/10~31 PARCO劇場(渋谷), 6/6・7 森ノ宮ピロティホール(大阪), 6/13・14 東海市芸術劇場(愛知) ほか

☆平体まひろ:『花よりタンゴ』(井上ひさし作、栗山民也演出) 5/12~31 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA, 6/13・14 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館) ほか
 ☆紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA の公演には文学座支持会、パートナーズ倶楽部 会員様の特別値引があります。詳細はこまつ座 TEL03-3862-5941
 ★川合耀祐:『じべた』(鳥越勇作作・演出) 5/25~31 小劇場 B1(下北沢)
 ★沢田冬樹:『喝采~「イヴの総て」より~』(メアリー・オア原作、保坂磨理子訳、鈴木孝宏演出) 6/10・11 豊洲シビックセンターホール
 ☆栗田桃子、増岡裕子、sara:『マンザナ、わが町』(井上ひさし作、鶴山仁演出) 7/10~23 紀伊國屋サザンシアター TAKASHIMAYA
 ☆文学座支持会、パートナーズ倶楽部 会員様の特別値引があります。詳細は文学座 TEL03-3351-7265

